## 物理学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満た	学位の基準は理学系研究科のディプロ	学位の基準は理学系研究科のディプロ	学位の基準は理学系研究科のディプロ
すべき基準	マ・ポリシーに準ずる。	マ・ポリシーに準ずる。	マ・ポリシーに準ずる。
	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)
	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、
	地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東	地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東	地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東
	京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高	京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高	京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高
	水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達し	水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達し	水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達し
	た学生に理学の学位を授与する。	た学生に理学の学位を授与する。	た学生に理学の学位を授与する。
	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知 を創造し、発展・継承することができる。	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい 知を創造し、発展・継承することができる。	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい 知を創造し、発展・継承することができる。
	・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂	・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創	・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創
	行する能力をもつ。	的な研究を着想・遂行する能力をもつ。	的な研究を着想・遂行する能力をもつ。
	・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に 基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発 信し、理学の発展に対して貢献できる。	・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。	・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。
	・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方	・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会	・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会

	面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担う	の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導	の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導
	ことができる。	的な役割を担うことができる。	的な役割を担うことができる。
審査委員の体制	審査委員は3名以上とする。	審査委員は5名以上とする。	審査委員は5名以上とする。
	審査委員は専攻会議で決定する。	ただし、審査委員(主査、副査)には	ただし、審査委員(主査、副査)には
		指導教員は含めない。	紹介教員は含めない。
審査の方法	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。
審査の項目	・論文の内容	・論文の内容	・論文の内容
	・口頭試問	・口頭試問	・口頭試問
	・学位に相当する学力	・学位に相当する学力	・学位に相当する学力
			・外国語の試問

## 天文学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満た	学位の基準は理学系研究科のディプロ	学位の基準は理学系研究科のディプロ	学位の基準は理学系研究科のディプロ
すべき基準	マ・ポリシーに準ずる。	マ・ポリシーに準ずる。	マ・ポリシーに準ずる。
	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)
	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文
	学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置	学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置	学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置
	き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世	き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世	き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世
	界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標	界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標	界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標
	に到達した学生に理学の学位を授与する。	に到達した学生に理学の学位を授与する。	に到達した学生に理学の学位を授与する。
	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。 ・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。 ・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展に対して貢献できる。	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。 ・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。 ・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造し、発展・継承することができる。 ・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。 ・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を

	T	T	,
	・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸	国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導	国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導
	方面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を	できる。	できる。
	担うことができる。		
		・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社	・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社
		会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・	会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・
		先導的な役割を担うことができる。	先導的な役割を担うことができる。
審査委員の体制	・論文査読委員1名。	・主査1名,副査4名以上とする。	・主査1名,副査4名以上とする。
	・修士論文発表会での研究発表の審査	・指導教員、博士論文に関わる論文の	・元指導教員、博士論文に関わる論文
	および口頭試問は全専攻教員で行う。	共著者は審査委員になれない。	の共著者は審査委員になれない。
審査の方法	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。	公開された審査会で行う。
審査の項目	・論文の内容	・論文の内容	・論文の内容
	・口頭試問	• 口頭試問	・口頭試問
	・学位に相当する学力	・学位に相当する学力	・学位に相当する学力
			・外国語の試問

## 地球惑星科学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満た	学位の基準は理学系研究科のディプロ	・学位の基準は理学系研究科のディプロ	・学位の基準は理学系研究科のディプ
すべき基準	マ・ポリシーに準ずる。	マ・ポリシーに準ずる。	ロマ・ポリシーに準ずる。
		・地球惑星科学に関連し、申請者を筆頭	・地球惑星科学に関連し、本学に関係
	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	とする論文が国際誌に1編以上掲載また	があり、かつ申請者を筆頭とする論文
		は受理されていること。	が国際誌に 2 編以上掲載または受理さ
	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、		れていること。
	地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	
	京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水		(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)
	準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、	
	学生に理学の学位を授与する。	地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、
		京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水	地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東
	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知	準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した	京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高
	を創造し、発展・継承することができる。	学生に理学の学位を授与する。	水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達し
	・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂		た学生に理学の学位を授与する。
		・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知	
	行する能力をもつ。 	を創造し、発展・継承することができる。	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい
	・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に		知を創造し、発展・継承することができる。
		・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創	
	基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発	的な研究を着想・遂行する能力をもつ。	・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創
	信し、理学の発展に対して貢献できる。	<b>必吸</b> 处。	的な研究を着想・遂行する能力をもつ。
		・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーショ	

	・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方	ン能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内	・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーショ
	面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担う	外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。	ン能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を国内
	ことができる。		外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導できる。
		・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会	
		の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導	・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会
		的な役割を担うことができる。	の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導
			的な役割を担うことができる。
審査委員の体制	・論文審査は3名の教員で行う。	・審査委員は5名以上とする。	・審査委員は5名以上とする。
	・口頭発表審査は公開とし、専攻の大学	・指導教員は主査になれない。	・指導教員、紹介教員は主査になれな
	院担当教員で行う。		V,
審査の方法	・修士論文の審査とその後に行なわれる	・公開された審査会で行う。	・公開された審査会で行う。
	口頭発表の審査の結果を総合して行う。		
審査の項目	・論文の内容	・論文の内容	・論文の内容
	・口頭試問	・口頭試問	・口頭試問
	・学位に相当する学力	・学位に相当する学力	・学位に相当する学力
			・他大学出身者は専門科目,外国語の
			筆頭試問。

## 化学専攻

	修士	課程博士	論文博士
学位論文が満た	・学位の基準は理学系研究科のディプ	・学位の基準は理学系研究科のディプ	・学位の基準は理学系研究科のディプ
すべき条件	ロマ・ポリシーに準ずる。	ロマ・ポリシーに準ずる。	ロマ・ポリシーに準ずる。
	・国際水準の研究成果を含み、理学の	・十分な学術的価値を有し、理学の発	・十分な学術的価値を有し、理学の発
	発展に資するものであること	展、深化に貢献するものであること。	展、深化に貢献するものであること。
		論文内容は国際的に発表、または公表	論文内容は国際的に発表、または公表
	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	予定でなければならない。	予定でなければならない。
	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文 学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)
	き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文
	界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標	学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置	学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置
	に到達した学生に理学の学位を授与する。	き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世	き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世
		界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標	界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標
	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい 知を創造し、発展・継承することができる。	に到達した学生に理学の学位を授与する。	に到達した学生に理学の学位を授与する。
		・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい
	・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・	知を創造し、発展・継承することができる。	知を創造し、発展・継承することができる。
	遂行する能力をもつ。		
		・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独	・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独
		創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。	創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。

	・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力	・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーシ	・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーシ
	に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向け	ョン能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を	ョン能力に基づいて、世界最高水準の研究成果を
	て発信し、理学の発展に対して貢献できる。	国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導	国内外に向けて発信し、理学の発展・深化を先導
		できる。	できる。
	・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方		
	面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担う	・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会	・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会
	ことができる。	の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導	の諸方面で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導
		的な役割を担うことができる。	的な役割を担うことができる。
審査委員の体制	審査委員は6名以上とする。指導教員	審査委員は5名以上とする。指導教員	審査委員は5名以上とする。
	が主査を務める。	が主査を務める。	
審査の方法	専攻内にのみ公開された審査会で行	非公開の審査会で行う。	非公開の審査会で行う。
	う。		
審査の項目	・論文の内容	・論文の内容	・論文の内容
	・研究内容および学識に関する口頭試	・研究内容および学識に関する口頭試	・研究内容および学識に関する口頭試
	問	問	問
			・総説による書面審査

	修士	課程博士	論文博士
	学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ ポリシーに準ずる。	学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ ポリシーに準ずる。	学位の基準は理学系研究科のディプロマ・ ポリシーに準ずる。
	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)	(理学系研究科のディプロマ・ポリシー)
	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星 科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究 科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲 げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。	東京大学大学院理学系研究科では物理学、天文学、地球惑星 科学、化学、生物科学の5専攻を置き、東京大学理学系研究 科憲章の定めに従って世界最高水準の教育を実施し、次に掲 げる学修目標に到達した学生に理学の学位を授与する。
学位論文が満たすべき基準	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造 し、発展・継承することができる。	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造 し、発展・継承することができる。	・自然界の真理の本質的な理解に向けて、新しい知を創造 し、発展・継承することができる。
	・未知の問題解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。	・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。	・未知の問題を自ら発掘し、その解決のために独創的な研究を着想・遂行する能力をもつ。
	・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に基づいて、世界水準の研究成果を国内外に向けて発信し、理学の発展に対して貢献できる。	・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に 基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信 し、理学の発展・深化を先導できる。	・学際的・国際的な視野と高度なコミュニケーション能力に 基づいて、世界最高水準の研究成果を国内外に向けて発信 し、理学の発展・深化を先導できる。
	・国内外の大学・民間企業・官公庁など社会の諸方面で高い倫理観と責任をもち、先導的な役割を担うことができる。	・国内外の大学・民間企業研究所・官公庁など社会の諸方面 で高い倫理観と責任をもち、指導的・先導的な役割を担うこ とができる。	

審査委員の体 制	当専攻の大学院担当教員が、修士論文の査読と発表会、口頭試験の成績評価を担当する。	審査委員会は5名以上とする。	審査委員会は5名以上とする。
審査の方法	<ul><li>修士論文発表会は、当専攻内で公開で行う。</li><li>修士論文と発表会、口頭試験に基づき、 成績評価と合否判定を行う。</li></ul>	博士論文審査会の前半の発表会は、当専攻 内で公開で行う。後半では審査委員による 口頭試験を経て、学力の確認と合否判定を 行う。	博士論文審査会の前半の発表会は、当専攻 内で公開で行う。後半では審査委員による 口頭試験を経て、学力の確認と合否判定を 行う。
審査の項目	<ul><li>・論文の内容</li><li>・修士論文発表会</li><li>・口頭試問</li><li>・学位に相当する学力</li></ul>	<ul><li>・論文の内容</li><li>・博士論文発表会</li><li>・口頭試問</li><li>・学位に相当する学力</li></ul>	<ul><li>・論文の内容</li><li>・博士論文発表会</li><li>・口頭試問</li><li>・外国語試問</li><li>・学位に相当する学力</li></ul>